



成田 あれ・これ



令和8年4月号 第370号

発行: 一般社団法人成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

成田山奉納 第36回

令和8年

4月18日(土)
19日(日)

成田太鼓祭



日本屈指の太鼓の祭典「成田太鼓祭」が開催されます。陽春の大気を震わせ、身体の奥底に響き渡る太鼓の轟音、圧倒的な迫力で繰り広げられる響演を是非、ご堪能ください。

☆千願華太鼓☆ 時間: 両日9時30分より 会場: 成田山大本堂前

出演者が一斉に太鼓を打ち鳴らすという祭の幕開けにふさわしい華やかなイベント。

☆成田山千年夜舞台☆ 時間: 18日(土)17時より 会場: 成田山大本堂前

ライトアップされた幽玄な雰囲気の中で繰り広げられる特別な演奏です。

☆千鼓万礼パレード☆ 時間: 19日(日)15時より 会場: 表参道入口～成田山門前

成田山表参道入口から成田山総門前までを、個性溢れる太鼓チームが賑やかに練り歩きます。

※この他、成田山表参道に設置した特設ステージにて、各太鼓団体の演奏が繰り広げられます。力強い太鼓の音と躍動感あふれるパフォーマンスをお楽しみください。



【開催場所】 成田山新勝寺、成田山表参道

【開催時間】 4月18日(土)9時30分～19時 4月19日(日)9時30分～17時

【交通規制】 JR 成田駅～成田山門前(鍋店かど)

4月18日(土)9時45分～20時 4月19日(日)9時45分～17時30分

【お問合せ先】 成田太鼓祭実行委員会事務局 TEL 0476-24-3232

第34回不動の大井戸茶会

「不動の大井戸」から汲み上げられた水を用いて、お茶会が開催されます。

【日時】4月12日(日)～4月29日(祝・水)の土曜・日曜・祝日
10時～15時頃(定員に達し次第受付終了)

【場所】なごみの米屋總本店 お不動様旧跡庭園
(雨天の場合は、總本店内2階 成田生涯学習市民ギャラリー)

【お問合せ先】 成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



成田のおどい花見

約300年前の元禄年間頃から伝承されているといわれ、1964年に千葉県無形民俗文化財に指定されました。

成田の文化や人々の想いを今に伝える古式ゆかしい踊りです。郷部にある埴生神社から始まり16の神仏を参拝し、踊りを奉納します。

【日時】4月3日(金)7時～17時

【お問合せ先】成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



成田山花まつり

お釈迦さまのお誕生日をお祝いして、すべての人々の幸せを願い、花まつり行事が開催されます。

【お問合せ先】成田山新勝寺花まつり係 TEL 0476-22-2111(9時～16時)

花御堂灌仏 参詣された方は自由に花御堂の誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いすることができます。

【日時】4月1日(水)～8日(水)6時～16時 【場所】成田山釈迦堂前

降誕会法要 お釈迦さまのお誕生日をお祝いする法要です。どなたでも自由にお堂に上り参詣ができます。

【日時】4月8日(水)10時～ 【場所】成田山釈迦堂

千葉県立房総のむら 実演・展示「雛祭り」

女の子の節供行事です。上総の農家では女の子の成長を祈り、掛け軸雛を飾り、草餅や甘酒を供えます。安房の農家では桃の花を飾り、祝い膳を作ります。

【日時】4月18日(土)、19日(日) ※18日に実演し、午後から展示します。

【休館日】月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合せ先】千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

小御門神社 春の例祭

立身流の奉納演武、成田市土室区神楽保存会による神楽奉納などの奉納行事が執り行われ、近郷近在から、多数の参拝者が訪れ賑わいます。

【日時】4月29日(祝・水)

【お問合せ先】小御門神社 TEL 0476-96-0449



成田山門前町を行く～その⑧

江戸の昔から参詣客で賑わっていた成田山新勝寺。今月は、門前町 昔の名物についてご紹介します。明治10年の『成田繁昌記』には、光明堂周辺の出店について、「堂の前へ一面雑商店を張り、紙囊・煙草袋を売るものあり」と記されており、煙草を入れる袋が土産として売られていました。当時の煙草は煙管やパイプに詰める刻み煙草でしたので、その刻んだものを入れる袋をさします。紙巻き煙草の流行により姿を消してしまいました。

昔の名物としては、「おこし」があります。おこしが成田山の土産として販売されたのは江戸時代の末期です。並木町の不動塚は、成田山の御本尊不動明王を最初に安置した場所と伝わりますが、この一帯に当時は沢山のイチゴが自生していました。これを近くの老女が摘んで、試しに成田街道の露店で売り出したところ、旅人の喉の渇きをいやして好評となり、門前にも店を出すようになりました。

しかしイチゴは夏の食べ物で保存がききません。そこでイチゴを模したおこしを作って、成田山の縁起に関連づけ、イチゴおこしの名で売り出してみると、たちまち評判となりました。

その後、栗おこし・落花生おこしなどの名で製造され、明治中期には成田土産の一番の人気となりました。

「成田おこしは、金竜残の雷おこしと一般の味わい淡泊なるも、この地名物の名を占む」と金竜山(浅草観音)の雷おこしと似ていると『成田繁昌記』に記されています。しかし次第に羊羹に押されて斜陽化し、現在では販売がされていません。



仲町の三橋薬局・木内薬局で売られている、漢方の家伝薬・一粒丸は江戸時代からの名物です。成田山ご霊薬 と称せられ、腹痛などの特効薬として知られています。江戸時代は、何日もかけ、成田山を参詣しましたが、その際、体の具合が悪くなった旅人が服用した道中薬です。この他、血止め・切り傷・子供の疳の虫等の薬もあります。昔の参詣人は買って帰り常備薬にしました。重さが軽いこともあり、代参で参詣した時は、仲間達への土産として大量に持ち帰り、旅の途中であれば常備薬とし、江戸時代の土産として、最も人気がありました。現在でも買い求める人が多く、漢方薬として昔ながらの姿をとどめています。(⇒次回に続きます。)

イベント等の関連情報については、FEEL 成田(<https://www.nrftk.jp>)をご覧ください。